



## 本校OB（JAXA 研究員）による課題研究指導を受けました。

6月23日（水）に本校OBで、現在JAXAで研究をしている秋山祐貴さん（20回生）に来ていただき、人工衛星の課題研究班に対して講演や研究に対するアドバイスなどをしていただきました（右写真）。課題研究では、佐賀県とJAXAが連携したJAXAGA（ジャクサガ）というプロジェクトに参加し、超小型人工衛星（キューブサット）を用いて宇宙空間で調査を行います。宇宙空間でどのような調査を行うかテーマを考え、それを実行するプログラムを組むことを目的としています。



最初に、最新の宇宙開発の動向や宇宙空間でどのような研究が行えるのか、また研究テーマを生み出すためのポイントについて講演をされました。テーマの設定は「ニーズ」、「強み」、「興味関心」の3つを挙げて、これらを満たすテーマがベストであるが、実際はこの中の2つを満たせば十分にテーマとして通用するなど、研究テーマを生み出すコツについて話をされました。講演後は、研究班ごとに現在考えているテーマの問題点やテーマ設定のヒントについて、生徒と話をすることで生徒達は新しいアイデアを思いついたり、自分たちのテーマ設定に自信を持ったり、大きな手応えを感じているようでした。

## 第2回リサーチセミナーを開催しました。

7月10日（土）に、理数科1年生を対象に、第2回「リサーチセミナー」を実施しました。佐賀大学農学部 講師 関 清彦 先生に「かびを防ぐ（抗かび物質の探索）」と題して、講演をしていただきました（右写真）。最所に農学部の取り扱う学問の範囲について話をされました。農学とは生物の持つ力を利用して社会をより良くしている学問であり、生活に密着した幅広い学問であることを紹介されました。先生のユーモアを交えた話に生徒達は引きつけられ、先生からの問いかけに対しても近くの生徒どうして積極的に話し合うなど、興味関心を持って参加していました。



かびの研究を例に挙げて、かびの発生を抑える条件から、研究時には条件をどのように変えて実験を行わなくてはならないのか、どのようなデータを得れば証明したと言えるのか話をされました。目に見て分かる実験をとりあえずやるのではなく、理論に基づいて計画的に行うことが重要であることが生徒達に伝わっているようでした。

### <聴講した生徒の感想>

- 実験結果が予想と違っていてもそれは失敗ではなく、実験から得られた新しい情報として受け入れることで、成功につながることもあると知り、早く課題研究をしてみたいと思うようになった。
- 研究を行うにあたって研究対象のことを知り、条件を1つずつ変えることで比較ができるようになり、違いが明確になることを知った。課題研究では、このことを忘れずに研究を進めていきたい。